

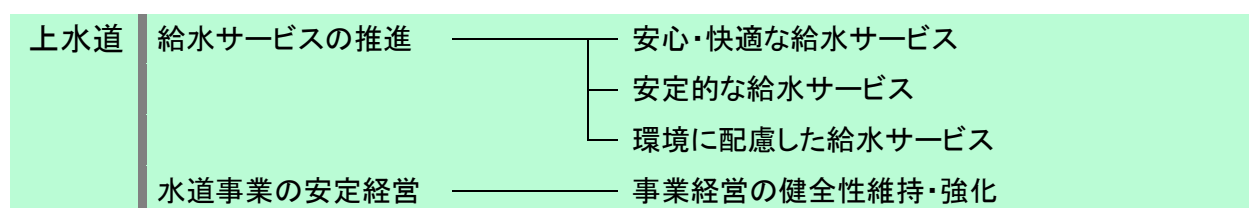
第5節 上水道



現況と課題

- ◆ 「富士吉田市水道事業経営変更（第8期事業）」に基づき、水源確保や施設の整備、配水区域の再編等を進めています。
- ◆ 安心でおいしい水道に向け、水質監視体制を強化しています。
- ◆ いつでも供給できる水道に向けて、施設能力の適正化、施設監視機能の強化、配水ブロック間の連絡、配水圧力の安定化、直結給水の拡大に努めています。
- ◆ 災害に強い水道に向けて、水道施設の耐震化及び老朽施設の更新、災害時の応急給水及び復旧体制の整備に努めています。
- ◆ 水源の複数化、配水池容量の増強等を進めています。その中で、2014（平成26）年度より忍野水源の代替施設を建設しています。なお、水源の複数化や配水施設の増強には財源の確保が課題となります。
- ◆ 環境に配慮した水道に向け、地下水涵養流域の環境保全、地下水の適正利用等に努めています。
- ◆ とともに築く市民の水道として、市民への情報提供の充実、意見収集と事業への反映、質の高いサービスの提供、コンビニエンスストアや電子マネーでの料金納付などを進めています。
- ◆ 運営基盤の強い水道として、2019（令和元）年度に富士吉田市水道事業経営戦略を策定し、水道料金の適正化や費用対効果に見合う施設整備、事業の効率化（アウトソーシングの導入）などによる水道事業の健全化に努めています。
- ◆ 人口減少、節水機器の普及、住宅環境の変化により、使用水量が減少するなど水道事業の経営が圧迫されている中、水道事業は、拡張路線から、施設更新・耐震化へ転換を図っています。
- ◆ 2016（平成28）年に作成したアセットマネジメント（資産管理）により老朽施設、配水管の改修耐震化を行い漏水発生率の低減化を図っていますが、高度成長期に整備した施設の耐用年数経過に伴う施設改修が多大となってくることから、整備が追いつかないのが現状です。

施策の体系



(1) 給水サービスの推進

①安心・快適な給水サービス

水源から給水に至るまで、検査計画に基づいた水質試験を行い、良質な水道水の提供に努めます。

②安定的な給水サービス

地震等の災害に備え水道施設の耐震化を引き続き進めます。具体的には、現在整備中の忍野水源の代替配水場の整備促進、配水区域の適正化・複数化、緊急時の配水池容量 12 時間以上に対応する施設の増強を進めるとともに、下吉田配水場の更新についても取り組んでいきます。また、いつでも供給できる水道に向けて、施設能力の適正化、施設監視機能の強化、配水ブロック管の連絡、配水圧力の安定化、直結給水の拡大に努めます。

③環境に配慮した給水サービス

「水は限りある資源」であることへの認識を深め、資源の有効利用を図るために節水意識の啓発に努めるとともに、有効率の向上による浪費エネルギーの削減に努めます。

(2) 水道事業の安定経営

①事業経営の健全性維持・強化

アセットマネジメント（資産管理）に沿った戦略的アプローチによる取組を実施していくため、経営戦略に基づき、経営の合理化や事務の効率化を図るとともに、民生安定事業の水道事業への新たな採用枠拡大に向けた取組を図ることにより、安定した財源の確保に努めます。また、水道料金の滞納整理の強化を推し進めることで財源の管理を徹底します。

●水道施設の更新工事

